

令和元年度 事業報告

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

(1) 基本方針

水環境保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、浄化槽法定検査の効率的な推進に努めるとともに、山形県、市町村及び関係機関と連携を図り、浄化槽設置者に対する適正な管理知識の普及啓発を推進し、浄化槽法定検査の受検率の向上に努めた。

(2) 事業実施状況

法定検査業務の推進

1) 浄化槽法定検査

① 浄化槽法定検査実施数

検査計画 35,800 基に対し、7 条検査 414 基、11 条検査 35,383 基 合計 35,797 基を実施した。

② 総合支庁及び管内市町村の担当者と情報交換を行い、未受検者に対して周知啓発を行った。 (未受検者対応)

検査拒否対応	1,029 件対応	164 件受検 (15.9%)
--------	-----------	-----------------

未申込対応	520 件対応	21 件申込 (4.0%)
-------	---------	---------------

合計	1,549 件対応	185 件受検 (11.9%)
----	-----------	-----------------

③ 公益財団法人日本環境整備教育センターに新入職員 2 名を派遣し、浄化槽法定検査員の資格取得に努めた。

④ 検査手数料改定について、対象施設の管理者及び関係機関に対し、6 月 1 日付けで文書を通知し、内容の周知に努めた。

⑤ 浄化槽法定検査普及啓発活動

10 月 1 日の浄化槽の日、山形新聞に広告を掲載し、浄化槽を通じた公共用水域の水質保全について啓発を行うとともに、浄化槽の維持管理の重要性と法定検査受検への理解に努めた。

2) 浄化槽及び一般廃棄物に関する研修会・講習会

① 浄化槽・水処理技術管理研修会

会員、浄化槽管理士、浄化槽清掃技術者、一般廃棄物処理業者及び当協会職員の資質の向上を図るとともに、一般廃棄物に係る判例から見た委託許可問題について知識を深めるため研修会を開催した。

11 月 8 日 村山市 甌葉プラザ 97 名参加

② 浄化槽管理技術指導出前講座

浄化槽管理士の育成と管理技術の向上のため、現場での実務研修を行った。

3 月 21 日 (有)厚生社 計 3 名

③ 浄化槽新規設置者講習会

浄化槽の適正な取り扱いと使用上のルールを理解してもらうため、村山、最上及び置賜の各総合支庁管内において開催した。

また、浄化槽新規設置者に対し、講習会資料一式を郵送で配付した。

11月27日 開催地：尾花沢市 対象地域：尾花沢市・大石田町

11月28日 開催地：新庄市 対象地域：最上地域

12月5日 開催地：米沢市 対象地域：米沢市・南陽市・川西町

延出席者 91名

④ 検査員研修

検査員の資質と技術力の向上及び精度管理の徹底を図るため、全国浄化槽技術研究集会や北海道・東北地区浄化槽指定検査機関連絡協議会に職員を派遣するとともに、法定検査の信頼性を向上するため、写真判定及び水質検査の判断等について研修を実施した。

⑤ 青年部研修会

1月31日、県水大気環境課主事東海林将人氏を講師に招き、山形県の浄化槽整備促進事業や改正浄化槽法について理解を深めた。

3) 浄化槽及び一般廃棄物に関する情報提供、機関紙の発行

- ① 一般社団法人日本環境保全協会発行の「環境保全タイムズ」等一般廃棄物処理業に関する情報を随時提供した。

また、同協会からの浄化槽及び浄化槽清掃に関する情報を随時提供した。

- ② 協会機関紙「県水協たより」を年2回発行し、県及び市町村、会員、関係機関に配布した。

- ③ ホームページを通して協会の情報公開に努めるとともに、浄化槽の適正な管理知識や各種手続き等の普及に努めた。

アドレス <http://www.yamagata-suisituhozen.or.jp/>

4) 浄化槽の維持管理に関する調査・相談・指導業務

- ① 環境省からの「浄化槽の指導普及に関する調査」に協力するため、市町村に対し、浄化槽法定検査の結果データを提供した。

- ② 公益財団法人日本環境整備教育センターの委託を受け、全国浄化槽推進市町村協議会に補助対象登録された浄化槽が所期の性能を発揮しているかどうか検証するため、南陽市及び新庄市で計3基の現地調査を行った。

- ③ 各地区で開催した「浄化槽新規設置者に対する講習会」終了後に個別相談会を開催した。

5) 浄化槽に関する調査研究

協会が作成した浄化槽台帳システムと市町村台帳を活用するための「市町村浄化槽台帳システム」について、米沢市及び南陽市と委託契約を締結し業務の運用を開始した。

また、他市町村に対し「市町村浄化槽台帳システム」の活用に向けて啓発を行った。

6) 浄化槽維持管理に関する調査研究

10月9日、秋田県で開催された第33回全国浄化槽技術研究集会で検査係長斎藤智和が「水質悪化の防止策を踏まえた維持管理について」発表を行った。

7) 水環境保全活動への支援

- ① 県内小中学校等（7団体102名）からの要請により、県内河川において簡易調査キットによる水質検査を実施し、環境教育の実践に協力した。
- ② 最上川フォーラムの県内一斉調査「身近な川や水辺の健康診断」へ参加するとともに、85団体232箇所のレーダーチャート作成と河川ごとの調査結果のマップ作成に協力を行った。
- ③ 7月10日に最上町で開催された山形県保健環境活動団体連合会の総会において、浄化槽啓発用リーフレットを配布し、会員へ説明を行った。
また、連合会活動を支援するため助成金を交付した。

8) 被災地 支援活動

- ① 公益社団法人宮城県生活環境事業協会と協力して、8月24日に29名で、被災した宮城県石巻市大原小学校において、グラウンドと遊具周りの草刈り、校舎周りの生垣剪定など環境整備を実施した。
当協会青年部及び職員10名の参加
- ② 6月18日に発生した日本海山形県沖地震や10月の台風19号で水害に見舞われた置賜地区の被災状況について情報収集に努めた。

9) その他活動

- ① 6月14日、会員相互の情報交換と融和を図るため、第9回社員定時総会終了後、相互の扶助事業並びに懇親会を開催した。
- ② 日本赤十字社活動を支援するため助成金を交付した。